

## 雨水浸透阻害行為許可事前相談書

事前相談日時	年 月 日 ( ) : ~ :
事業区域に含まれる地域の名称	
事業区域の面積	
予定する事業の計画の内容	
事業主又は建築主等の住所・氏名	住 所 氏 名
代理人等の住所・氏名・連絡先	住 所 氏 名 連絡先 ( ) 担当者

(注) 事前相談には、次の図書を添付してください。(各図書の作成要領は、裏面を参照して下さい)

- 1 行為区域位置図(図面-1) (縮尺5万分の1以上)
- 2 行為区域区域図(図面-2) (縮尺2、500分の1以上)
- 3 現況地形図(行為前)(図面-3) (縮尺2、500分の1以上)
- 4 現況土地利用求積図(行為前)(図面-4) (縮尺2、500分の1以上)
- 5 土地利用計画図(行為後)(図面-5) (縮尺2、500分の1以上)
- 6 土地利用計画求積図(行為後)(図面-6) (縮尺2、500分の1以上)
- 7 行為前後の土地利用区分面積表(申請様式-2)
- 8 行為区域の現況写真(写真撮影位置図を添付)(資料-1)
- 9 土地の登記事項を示す書類(全部事項証明書の写し)(資料-2)
- 10 公図の写し(資料-3)
- 11 その他土地利用形態を示す書類(課税台帳の写し等)(資料-5)

この事前相談は、雨水浸透阻害行為許可の申請の要否についてのみ審査するもので、他法令等に基づく審査を行うものではありません。

※処理欄	事前相談担当者名 _____
雨水浸透阻害行為面積 _____ m <sup>2</sup> 雨水浸透阻害行為許可申請 ( 要 ・ 不要 ) _____ 許可申請不要の理由 _____ _____ _____ 備 考 _____ _____ _____ 結果の連絡 _____ 年 月 日 済 ( <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> 来庁 ) 連絡した相手名 _____	

※印欄は記入しない

## 事前相談図書作成要領

### 1 行為区域位置図（図面-1）（縮尺5万分の1以上）

地形図に行為区域の位置を赤色で表示してください。

### 2 行為区域区域図（図面-2）（縮尺2,500分の1以上）

1) 行為区域の区域、2) 県界、3) 市町村界、4) 市町村区域内の町又は字の境界、5) 土地の地番、6) 土地の形状を記入してください。

### 3 現況地形図（行為前）（図面-3）（縮尺2,500分の1以上）

地形、行為区域の境界並びに流出係数の区分ごとの現況（行為前）土地利用形態及び当該土地利用形態ごとの面積（申請様式-2の行為前面積）、また既存排水施設の位置を明示してください。なお、等高線は、2メートルの標高差を示すものとしてください。

### 4 現況土地利用求積図（行為前）（図面-4）（縮尺2,500分の1以上）

現況地形図（行為前）（図面-3）で明示した、土地利用形態ごとの面積の根拠となる求積図を作成してください。

### 5 土地利用計画図（行為後）（図面-5）（縮尺2,500分の1以上）

行為区域の境界並びに流出係数の区分ごとの計画（行為後）土地利用形態及び当該土地利用形態ごとの面積（申請様式-2の現況（行為前）土地利用形態ごとに整理された行為后面積）、また計画排水施設の位置を明示してください。

### 6 土地利用計画求積図（行為後）（図面-6）（縮尺2,500分の1以上）

土地利用計画図（行為後）（図面-5）で明示した、土地利用形態ごとの面積の根拠となる求積図を作成してください。

### 7 行為前後の土地利用区分面積表（申請様式-2）

図面-3、図面-5で明示された行為前後の土地利用形態の区分ごとの面積を記入してください。

面積の単位はhaとし、小数点以下4桁までの表示とします。また、端数処理の決まりはありません。行為前後の面積の合計が必ず一致するようにしてください。

### 8 現況写真（写真撮影位置図を添付）（資料-1）

行為前の土地の利用形態の状況がわかるように撮影し、必要に応じ写真撮影方向のわかる図面を添付してください。

### 9 土地の登記事項を示す書類（全部事項証明書の写し）（資料-2）

### 10 公図の写し（資料-3）

### 11 その他土地利用形態を示す書類（課税台帳の写し等）（資料-5）

※ その他事前相談に必要な資料があればご提出ください。

行為前後の土地利用区分面積表

事業区域位置： \_\_\_\_\_

行為前			行為後																					
土地利用形態区分	流出係数	面積 (ha)	計	面積 (ha)																	その他			
				宅地等に該当する土地										宅地等以外の土地										
				告示別表 1										告示別表 2		告示別表 3			告示別表 4					
				① 宅地	② 池沼	③ 水路	④ ため池	⑤ 道路 (法面無)	⑤ 道路 (法面有)	⑥ 鉄道線路 (法面無)	⑥ 鉄道線路 (法面有)	⑦ 飛行場 (法面無)	⑦ 飛行場 (法面有)	⑧ コンクリート等 (法面除)	⑨ コンクリート等 (法面)	⑩ ゴルフ場	⑪ 運動場類	⑫ 締固められた土地	⑬ 山地	⑭ 人工植生法面	⑮ 林地・原野類	⑯ 耕地	⑰ 締固められていない土地	
0.90	1.00	1.00	1.00	0.90		0.90		0.90		0.95	1.00	0.50	0.80	0.50	0.30	0.40	0.20	0.20	0.20					
宅地等に該当する土地	告示別表 1	① 宅地	0.90	0.0000																				
		② 池沼	1.00	0.0000																				
		③ 水路	1.00	0.0000																				
		④ ため池	1.00	0.0000																				
		⑤ 道路 (法面を有しないもの)	0.90	0.0000																				
		⑤ 道路 (法面を有するもの)		0.0000																				
		⑥ 鉄道線路 (法面を有しないもの)	0.90	0.0000																				
		⑥ 鉄道線路 (法面を有するもの)		0.0000																				
⑦ 飛行場 (法面を有しないもの)	0.90	0.0000																						
⑦ 飛行場 (法面を有するもの)		0.0000																						
小 計			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
宅地等以外の土地	別告示 2	⑧ コンクリート等の不浸透性の材料により覆われた土地 (法面を除く)	0.95	0.0000																				
		⑨ コンクリート等の不浸透性の材料により覆われた法面	1.00	0.0000																				
	告示別表 3	⑩ ゴルフ場 (雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.50	0.0000																				
		⑪ 運動場その他これに類する施設 (雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.80	0.0000																				
		⑫ ローラーその他これに類する建設機械を用いて締固められた土地	0.50	0.0000																				
	告示別表 4	⑬ 山地	0.30	0.0000																				
		⑭ 人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40	0.0000																				
		⑮ 林地, 原野	0.20	0.0000																				
⑯ 耕地		0.20	0.0000																					
	⑰ ローラーその他これに類する建設機械を用いて締固められていない土地	0.20	0.0000																					
小 計			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
その他			0.0000																					
			0.0000																					
合 計			0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
平均流出係数			0.000	0.000																				

雨水浸透阻害行為の該当面積 (ha)      0.0000   ⇒   計   0.0000ha   ※0.1ha (1,000㎡) 以上の場合、許可が必要 (要申請)

## 雨水浸透阻害行為前後の雨水流出量の最大値

合理式  $Q = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$

Q : 流量 (m<sup>3</sup>/s)

f : 流出係数 (申請様式-2より)

r : 最大降雨強度(10分間) (mm/h) ⇒ 126.6 ※

A : 集水面積 (ha) (申請様式-2より)

### ① 行為前の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times \frac{0.000}{f} \times 126.6 \times \frac{0.0000}{A} = 0.00000 \text{ m}^3/\text{s}$$

### ② 行為後の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times \frac{0.000}{f} \times 126.6 \times \frac{0.0000}{A} = 0.00000 \text{ m}^3/\text{s}$$

よって,

$$0.00000 \text{ m}^3/\text{s} - 0.00000 \text{ m}^3/\text{s} = 0.00000 \text{ m}^3/\text{s}$$

0.00000 m<sup>3</sup>/s分をカットする対策が必要。

※ r : 最大降雨強度 (10分間) については、熊本県公表の最新の降雨強度を参照すること。

※ 行為前後の f : 流出係数、A : 集水面積については申請様式-2より自動入力

※ 行為前後の Q : 流量は計算式より自動算出

※ 竜野川流域以外の場合は基準降雨より適切な降雨強度を入力の上使用すること

流出抑制施設諸元

調整池容量計算システムより作成

調整池諸元		下段	上段 (2段オリフィスの場合)
放流口径(2段オリフィスの場合は、上・下段の雨諸元を記載)			
放流口形状	形状	円形	
	直径	0.114	
	高さ	—	
	幅	—	
管底位置(池底から)		0.000	

調整池諸元		ポンプ諸元(ポンプ排水を用いた場合)	
H	V	H	Q
0.000	0.00		
1.000	260.00		

・雨水貯留施設の諸元を貼り付け  
 ・本表については、雨水浸透阻害行為の許可申請の手引きにおける「ステップ6」を参照

浸透施設諸元		浸透能力		影響係数		
		m <sup>3</sup> /s		(1)	(2)	(3)
【浸透マス】	単位設計浸透能(m <sup>3</sup> /hr/個) 比浸透量(m)	飽和透水係数(m/hr)	設置数量(個)	内容		
				内容(1)	内容(2)	内容(3)
1				0.90	0.90	0.80
2				0.90	0.90	1.00
3				0.90	0.90	1.00
4				0.90	0.90	1.00
5				0.90	0.90	1.00
6				0.90	0.90	1.00
7				0.90	0.90	1.00
8				0.90	0.90	1.00
9				0.90	0.90	1.00
10				0.90	0.90	1.00

【浸透トレソ】	単位設計浸透能(m <sup>3</sup> /hr/m <sup>2</sup> ) 比浸透量(m)	飽和透水係数(m/hr)	設置数量(m <sup>2</sup> )	影響係数		
				(1)内容(1)	(2)内容(2)	(3)内容(3)
1				0.90	0.90	1.00
2				0.90	0.90	1.00
3				0.90	0.90	1.00
4				0.90	0.90	1.00
5				0.90	0.90	1.00
6				0.90	0.90	1.00
7				0.90	0.90	1.00
8				0.90	0.90	1.00
9				0.90	0.90	1.00
10				0.90	0.90	1.00

【透水性舗装】	単位設計浸透能(m <sup>3</sup> /hr/m <sup>2</sup> ) 比浸透量(m)	飽和透水係数(m/hr)	設置数量(m <sup>2</sup> )	影響係数		
				(1)内容(1)	(2)内容(2)	(3)内容(3)
1				0.90	0.90	0.10
2				0.90	0.90	1.00
3				0.90	0.90	1.00
4				0.90	0.90	1.00
5				0.90	0.90	1.00
6				0.90	0.90	1.00
7				0.90	0.90	1.00
8				0.90	0.90	1.00
9				0.90	0.90	1.00
10				0.90	0.90	1.00

【その他】	単位設計浸透能(m <sup>3</sup> /hr/単) 比浸透量(m)	飽和透水係数(m/hr)	設置数量(単位)	影響係数		
				(1)内容(1)	(2)内容(2)	(3)内容(3)
1				0.90	0.90	
2				0.90	0.90	
3				0.90	0.90	
4				0.90	0.90	
5				0.90	0.90	
6				0.90	0.90	
7				0.90	0.90	
8				0.90	0.90	
9				0.90	0.90	
10				0.90	0.90	

空隙貯留量諸元		
空隙貯留量		
m <sup>3</sup>		
【浸透マス】	体積(m <sup>3</sup> )	空隙率(%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【浸透トレソ】	体積(m <sup>3</sup> )	空隙率(%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【透水性舗装】	体積(m <sup>3</sup> )	空隙率(%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

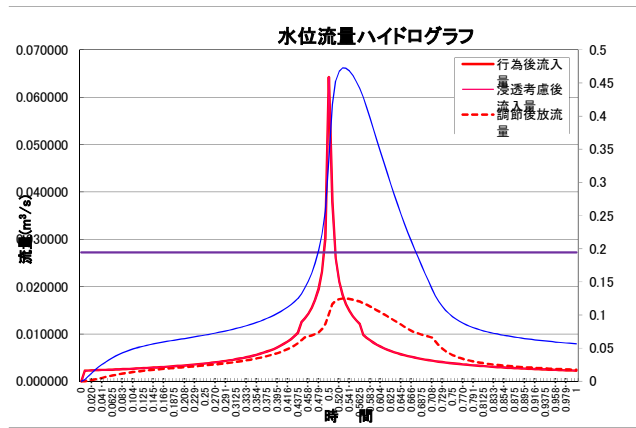
  

【その他】	体積(m <sup>3</sup> )	空隙率(%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

・浸透施設の諸元を貼り付け  
 ・浸透施設がない場合は空白  
 ・本表については、雨水浸透阻害行為の許可申請の手引きにおける「ステップ4」を参照

3. 流出抑制施設諸元

調節計算結果  
 最大流入量(行為後) 0.064220 m<sup>3</sup>/s  
 最大放流量 0.017483 m<sup>3</sup>/s < 許容 0.027220 m<sup>3</sup>/s



※最大流量についてシステムから貼り付け  
 ※水位流量ハイドログラフについてシステムから貼り付け

・対策後の最大放流量及びハイドログラフを貼り付け  
 ・グラフは雨水浸透阻害行為の許可申請の手引きにおける「ステップ6」で作成